

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	桜会	
代表者名	馬場 幸江	
連絡先	TEL : 090-5839-6050 FAX : 022-249-1797	E-mail baba270605@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	(桜カフェ) 開催による地域活性化事業
事業の目的	高齢になっても障害があっても閉じこもることなく地域において役割と生きがいをもって暮らすことができるよう地域の中に交流できる場づくりをすすめる。コロナ禍においても閉じこもりがちになる方のフレイル予防をめざし、地域の中で体を動かし健康維持できる集いの場づくりを進める。
事業の具体的内容	毎週木曜日緑が丘 4 丁目会館を拠点に集いの場を展開する。 第 2 木曜日は参加と交流の会として五感を使うことを意識したプログラムを展開する。 音楽を聴いたり季節のお菓子やお茶を楽しんだり手先を動かす物づくりのプログラム等を実施する。第 1・第 3 木曜日は体づくりの会とし、軽体操や健康に関する講和を行い、ストレス解消やフレイル予防のプログラムを実施する。 プログラムの内容は参加者の特技披露の機会を設け支援される側と言う立場だけではなく、それぞれが役割を發揮できる場作りを心がける。また、地域の幼稚園や福祉施設等との交流による活動プログラムなどで地域の社会資源を活用する。

<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>①再会の挨拶とスタッフ紹介。当日の流れについて説明 ②ウォーミングアップをして体をならし、物づくり等に臨む。 ③2部構成になっており 1部：体操→物づくりや参加者の特技披露。 2部：昔懐かし音楽を聴いて、共に口ずさむ。 回想ができ刺激も与えられることで生活にメリハリができる 一緒にみんなで歌うことで他者との交流が取れる。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>東日本大震災から早や11年。この地区は仙台市内では大打撃を受け町内の半数がこの地区を離れなければならない事態になりました。それまでは地域を担っていたのはこの地区の高齢者でもあり住民でもありました。震災により町内は分断されこの地区をやむなく離れざるをえなくなり、この地で育った人・新たに居を構えた人さまざまな状況になりました。そのため交流が途絶え高齢化も加速。殺伐とした人間関係・閉じこもり・孤独死も増えました。サロンを開催することで人が集まり交流が増え、この地を出た方たちが故郷に戻れるような喜びをもってもらえること。知り合いがいなく過していた方がサロンに参加することで知り合いができた。 小中高齢化が加速している地域でお互いのお互いを助け合え、サロンに来ることでお互いの安否を気にし合えるような関係性づくりを望んでいました。</p> <p>※開催から3年。コロナ感染が徐々に増えつつある中での開催でしたが多くの方が集まってくれました。「家の中にいると足腰が弱くなる」「毎日誰と話すことも無く一日が過ぎる」等の声が多く聞かれました。「ここに来ると誰かがいる」と言ってくれた人もいました。閉じこもりや身体状況の低下等がサロン開催したことで多少ではありますが成果がみられた様に思われます。</p> <p>東日本大震災で集団移転を余儀なくされている住民がいることから、かつての住民（被災者）も参加できる場として、復興のシンボルとされる公園等の活用を検討し地域の活性化を促す。</p> <p>さくらカフェに参加することで住民同士の横のつながり構築され、住み慣れた地域で生き生き地域社会で共に過ごせ、地域の中で穏やかな支え合いの仕組みができる様に促したい。</p> <p>そこに行けば誰かに会えると思えること。</p>

助成金報告書(令和3年4月～9月まで)→延期願いを出しR4年3月までとなる

■収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
福祉活動助成金	290000	こーぷ福祉会助成金
他機関助成金	0	
合計	290000	

■支出の部

費目	内容	予算額	実支出額
会場使用料	1000(円)/1回× (感染対策のためAM/PM2回に分散)	12000	2000
ボランティア交通費	3000(円)/1団体×	18000	0
ワークショップ代	500(円)×人数×回数(AM/PM2回 に分散)	120000	11071
ボランティア保険	30(円)×人数×(AM/PM) (感染対策のためAM/PM2回に分散)	9000	720
事務消耗品	事務消耗品(印刷代・コピー代・文房具)	20000	36800
広報作成費	インク代・紙代	20000	10123
物品購入費	空気清浄機/消毒液(感染症対策物品)	85000	96574
合計		284000	157288

内訳 (助成金)290,000-(支出額)157,288=(残額)132,712

助成金報告書(会費及び自己資金)

■収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
参加費	4800	200円/人
自己資金	21918	自己資金
合計	26718	

■支出の部

費目	内容	予算額	実支出額
自己資金		66000	0
会費	200円×人数	30000	8634
合計		96000	8634

内訳 (収入総額)96,000-(支出額)8,634=(残額)87,366(円)

※参加者が高齢であり、人数を分散して午前午後の2回に分散してコロナ感染拡大防止を図りましたが、現実には目標の様にはいきませんでした。

感染者が一人も出ていないことが幸いです。

982-0021
 仙台市太白区緑ヶ丘4丁目20-12
 電話 022-249-1797
 桜会 代表 馬場 幸江

	人と人が手を結び合うことは素晴らしい事だと思いました。
今後の展望など	サロンに参加することで、五感で楽しめ、意欲が活性化し笑顔が絶えない生き生きした生活ができ、共に助け合え、住み慣れた地域での生活ができるようになってほしいと思います。

活動報告書

	<p>令和3年12月16日(木) 10:00~11:30</p> <p>場所: 緑ヶ丘4丁目会館</p> <p>次第 ①主催者挨拶 ②スタッフ紹介 ③開催趣旨と本日の流れについて説明</p> <p>活動内容 。介護予防体操 。ギターアンサンブル演奏 。ワリスマスリース作り 一人個性豊かなワリスマスリースができて上がる。</p>	<p>令和3年12月16日(木) 13:00~14:30</p> <p>場所: 緑ヶ丘4丁目会館</p> <p>次第 ①主催者挨拶 ②スタッフ紹介 ③開催趣旨と本日の流れについて説明</p> <p>活動内容 。介護予防体操 。ギターアンサンブル演奏 。ワリスマスリース作り 。(A.M.P.M同様)</p>
<p>活動内容</p>	<p>令和4年1月27日(木) 10:00~11:30</p> <p>場所: 緑ヶ丘4丁目会館</p> <p>開催予定</p>	<p>令和4年1月27日(木) 13:00~14:30</p> <p>場所: 緑ヶ丘4丁目会館</p> <p>開催予定</p>

※2020年生協福祉活動助成金下期の助成金を受けているが新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を中止余儀なくされてしまい1度の開催も出来ませんでした。生活文化地域活動推進相談したところ、R3年12月~R4年3月まで延長の許可を受けました。そのためR3年12月蔓延防止と共に感染防止を万全にし開催をいたしました。(上記活動報告参照)。







